

ちの市議会だより

第21号

2017年5月18日

発行／茅野市議会

編集／議会広報部会

〒391-8501

長野県茅野市塚原二丁目6番1号

☎ 0266-72-2101

FAX 0266-73-7936

<http://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索

茅野市議会

検索

目次

委員会の審査……………	33
本会議討論・請願・陳情議決結果……………	37
議決結果・賛否一覧……………	38
一 般 質 問 通 告 一 覧……………	39
意見交換会の報告……………	40
開かれた議会へ、編集室より……………	41
	42
	43

平成29年3月

定例会のあらまし

茅野市議会3月定例会は、2月24日(金)から3月22日(水)までの会期で開催されました。補正予算や条例など21議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、承認されました。また、請願・陳情4件が審議され、1件が採択、1件が趣旨採択となり、議員提出議案について条例案1件、意見書案1件が可決されました。

平成29年度予算を可決

一般会計22.8億4千万円

前年度比8億1千万円(3.4%)の減

平成29年3月定例会に上程された新年度予算案について、全議員が所属する「予算決算委員会」で審査を行いました。

茅野市議会

「議会改革の二環として」

タブレット端末機を導入」

○茅野市議会では、今年度の定例会から、議会改革の一環として、議会専用のタブレット端末機を導入し、ペーパーレス化を目指します。

議会内のタブレット検討委員会が中心となり検討を重ね、これまで数回にわたり全議員で操作方法を練習してきました。タブレット導入により、予算書や決算書を除く大半の資料を電子化する見通しで、年間数十万円の経費節減になるほか、会議資料の整理整頓、資料作成の負担軽減、情報公開の促進につながるものと思います。

また、市議会では、タブレット導入にあたり、先進地の事例を参考に、端末機の使用範囲や禁止事項などを定めた使用基準などを策定しました。各議員には任期中に限って端末機が市から貸与され、議場だけでなく、自宅や出張先でも使用できるようになります。



委員会の審査

常任委員会（予算決算委員会・総務環境委員会・経済建設委員会・福祉教育委員会）で審査した、主要議案と質疑について掲載しました。



予算決算委員会



予算決算委員会

委員長 樋口 敏之

議案第14号

平成29年度茅野市一般
会計予算について



この議案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、228億4千万円と定めるもの。

主な質疑

「縄文プロジェクト」

について

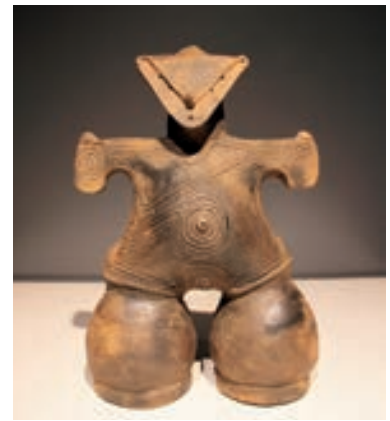
問 「縄文プロジェクト推進事業費2153万2千円のうち、ハケ岳JOMONライフフェスティバル実行委員会へ2千万円の負担金が支出されるが、この委員会は、どのような組織体制か。」

答 「市民の方が約40名、市の職員も含めると、70名から80名の体制となる。組織の母体は、縄文プロジェクト実行市民会議である。縄文プロジェクトの具現化を目指していく。」

福祉について

問 「成年後見権利擁護事業への支援として1375万円が計上されているが、どのような事業を行うのか。」

答 「主な予算として、社会福祉協議会助成事業費の法人運営事業補助金を前年度に比べ、1012万2千円増額した。これは、成年後見権利擁護支援事業を進めるため、社会福祉協議会に「仮称総合相談支援センター」を設置するためのものである。この中には、正規職員2名分の人件費を含んでいる。」



教育・子育てについて

問 「保育所施設維持管理費工事請負費に保育園改修工事費として、1383万1千円が計上されているが、どの保育園について改修工事が予定されているか。」

答 「笹原保育園・中央保育園の冷房設置工事、中央保育園のフェンス改修工事、金沢保育園のトイレ洋式化工事、泉野保育園の温水シャワー設置工事、湖東保育園・みどりヶ丘保育園の内外装設備改修工事、泉野保育園の屋根改修工事、その他、消防設備の補修工事を予定している。」

問 「産後ケア事業費について、市内の産科医療機関のみ対象にするのではなく、広域的に対応できないか。また、里帰り出産なども想定されるが、どのような方が対象となるか。」

答 「茅野市が産後ケア事業を実施することは、諏訪地域の産科医療機関へお知らせしており、茅野市民が茅野市外の医療機関で産後ケアを受けた場合も補助の対象となる。茅野市民以外の方は、茅野市の産後ケア事業の対象とならない。」



問 「産後ケア事業の補助金はいくらか。」

答 「自宅に助産師等が訪問する「出張相談型」は、1回の利用料は4千円となり、うち2千円が補助される。利用は6回までとなり、利用券が発行される。産科医療機関等に宿泊する「宿泊型」は産後3か月以内の方が対象であり、1泊2万5900円のうち、市の補助は8割程度となる。また、産科医療機関等へ通所する「通所型」は、1回1万8000円であり、市が8割程度補助する。」

農業について

問 「県営中山間総合整備事業費について、広田ほ場整備が行われるが、地元負担金はどのくらいか。」

答 「地元負担金は、2400万円である。」

新商品について

問 「新商品開発支援事業費補助金2百万円について、新商品や縄文関連商品の開発にあたり、売り上げが伸びる商品とするためにも消費者の意見を反映したらどうか。」

答 「新商品開発や、縄文関連商品開発にあたり、審査の上、補助金が支給されるが、消費者の会の代表者も審査会の委員となっており、意見をいただいている。また、専門家からマーケティングなど専門的なアドバイスも行っている。今後より良い商品が生まれるような事業としていく。」

観光について

問 「観光振興支援事業の中で、小津安二郎記念・蓼科高原映画祭への補助金1千万円が計上されている。本年度は、若い世代向けの企画があるようだが、どのようなものか。」

答 「若者や若い親子などに参加していただけるよう、プレイベントとして、託児所を設けた、ママシアターを計画している。また、親子で楽しむ企画として、

無藝荘を会場として、昭和の映画の勉強会や生活スタイルの違いを学ぶ企画などを計画している。」



第19回小津安二郎記念・蓼科高原映画祭の様子

問 「観光まちづくり推進事業費委託料136万7千円について、本年度も引き続き、地域おこし協力隊員と集落支援員を募集するのか。また、どのくらいの人数を募集するのか。」

答 「地域おこし協力隊員として、15名を採用する予定であり、そのうち10名については、4月からの採用が決定している。残り5名については、自然体験活動をプログラムできる経験者や旅行業の資格がある方に絞って、4月から5月にかけて募集していく。」

問 「地域おこし協力隊員や集落支援員として採用された方のうち、どのくらいの方が市営住宅サンコーポラス旭ヶ丘へ入居されたか。」

答 「4月採用者10名のうち、7名がサンコーポラス旭ヶ丘へ入居する。夫婦で地域おこし協力隊として採用されている方もおり、家族で入居される方もいる。」

問 「観光温泉施設管理運営費工事請負費685万円について、すずらの湯は、その維持のため、毎年多額の費用がかかるが理由は。」

答 「すずらの湯は寒冷地にあるため、雪や寒さに伴う施設の傷みがでる。そのため毎年様々な修繕が必要になる。また、建築から20年以上経過し、経年劣化による傷みも出ている。本年度は、男女のサウナ室の改修を行う。」

安全・安心の

まちづくりについて

問 「バリアフリー基本構想策定事業費659万9千円について、茅野駅周辺において、どのようにバリアフリーを進めていくか。」

答 「茅野駅周辺約1キロメートルから2キロメートルの範囲を考えている。重点地区を設ける。駅周辺や宮川地区で国県の大きな事業があるため、それを含めて地区設定をしていく。」

国際交流について



交流の様子

問 「国際交流事業費403万円のうち旅費57万2千円について、本年度ロングモント市へは市長のほか誰が訪問するのか。」

答 「本年度は、市長及び教育長がロングモント市へ訪問する。」

問 「ロングモント市はA.T企業の集積地であると聞いています。産業間の連携の可能性を探るためにも担当者を同行させたらどうか。」

答 「今年のロングモント市への訪問にあたり、産業間の連携の可能性を探るため、商工課長も同行する予定となっている。旅費については、産・学・公連携事業費に計上している。」

問 「長野県とコロラド州は連携しているが、国際交流についても、長野県と茅野市との連携は考えているか。」

答 「昨年、長野県知事が訪米した際に茅野市とワイオミング州ララミー市の交流について、デンプラーの総領事館より提案がされた。ロングモント市とララミー市は非常に近いので、本年度の訪問の中で、ララミー市へも訪問し、大学間の連携や産業間の連携について模索する。」

討論

●反対意見

「平成29年度の予算について、組織改正や保育園の統廃合の話は

パートナーシップのまちづくりの手法とは程遠いと感じる。また、困窮家庭が増えているにもかかわらず、ひとり親家庭に対する入学金・卒業祝金は廃止されたままであり、就学援助費は切り下げられたままである。マイナンバー制度についても、個人住民税に係る特別徴収税額決定通知書の簡易書留は無駄である。平均的に予算を配分したようにしか見えない。多子世帯の保育料の軽減についても、積極的な子育て支援というならば、保育が必要な児童の兄弟の年齢についてもっと広げてほしいのではないかと感じる。必要などころに必要な予算が配分されているか疑問に感じるため、この予算には反対する。」

●賛成意見

「平成29年度予算については、平成26年度から始まった、3年間の財政構造改革の成果により、達成された財政基盤の安定と強化を引き続き堅持し、常に財政規律を保持する目的のもと、編成された予算であると評価できる。確かに引き続き議論が必要な事業もあるが、本予算の執行が市民ファーストとなることを確信し、本予算に賛成する。」

総務環境委員会

委員長 両角 昌英

議案第7号
茅野市税条例等の一部を改正する条例について

可決

この議案は、地方税に関する法令等の一部改正に伴い、関係規定の整備を行うためのもの。

施行日は、公布の日。ただし、第1条中茅野市税条例第36条の2第1項ただし書の改正規定は、特定非営利活動促進法の一部を改正する法律の施行の日。

問 「平成27年6月に、専決処分により茅野市税条例の一部を改正した。当時、消費税の増税について、延期するという話があったので、この部分を抜いて提案はできなかったのか。施行日まで余裕がある場合でも専決処分する理由は。」

答 「平成27年6月に、茅野市税条例の一部を改正する条例の専決処分について、承認をしていただいた時点では、消費税の増税について、法律で実施することが規定されていたため、条例改正を行った。施行日に余裕がある場合でも、十分な周知期間を経た後、施行するのが一般的である。」

請願 1

「テロ等組織犯罪準備罪」に関する意見書採択を
求める請願書



不採択の意見

「過激化するテロ行為を防ぎ、国民の財産生命を守るということは必要である。上程して国民の代表にしっかりと議論していただきたいと考えるため、本請願は不採択。」

採択の意見

「この法案はテロを取り締まるのではなく、事前に抑えようというもので、凶悪犯罪を規制する法律になっていない。この法律が成立すると監視社会となりプライバシーがなくなってしまうと思われるので、本請願は採択。」

陳情 3

「核兵器廃絶国際署名」の
取り組みに賛同を
表明する陳情



不採択の意見

「核兵器廃絶は日本も国際決議で

賛成しているが、この陳情は署名に賛同することを求めている。核兵器廃絶国際署名の取組は理解するが、署名は住民の自由意思なので、本陳情は不採択。」

採択の意見

「本陳情は署名を強要するものではない。日本として核兵器廃絶は強く訴えていくべきだと思う。日本政府も核兵器を無くすべきだという立場をとっているため、本陳情は採択。」

陳情 4

日本政府に核兵器禁止条約の
交渉会議に参加し、条約締結
を求める意見書の
提出に関する陳情



不採択の意見

「核兵器禁止条約の会議を持つことに、日本は反対している。安全保障上の高度な問題であり、地方議会での意思決定の範囲を超えているので、議会の権限外である。そのため、本陳情は不採択。」

採択の意見

「国連で核兵器撤廃の決議をする際に、日本は段階的な縮小、廃絶

を求めるという意見書に賛成している。積極的に条約会議に出て、日本の段階的な削減を主張し、廃絶に向けてのアクションが必要。茅野市も非核平和都市宣言をしているため、本陳情は採択。」

経済建設委員会

委員長 伊藤 勝

議案第2号
財産の無償貸付に
ついて



この議案は、地方自治法第96条第1項第6号の規定により、茅野高等職業訓練校として使用していた建物を茅野市総合サービス株式会社事務所として使用するため、建物及びその土地を茅野市総合サービス株式会社へ無償で貸し付けることについて、議会の議決を求めるもの。

施行日は、平成29年4月1日。貸付けの期間は、平成29年4月1日から平成34年3月31日まで。

問 「茅野市総合サービス株式会社へ貸付けることになった経緯は。」

答 「職業訓練校法人茅野協会から、茅野高等職業訓練校を廃止したいという申入れがあった際、現在講座を実施されている方々から、茅野高等職業訓練校廃止後も、講座を実施していきたいとの強い希望があった。そのため、講座を継続していく場合、どのように建物の管理をしていくのがよいか検討した。その結果、茅野市総合サービス株式会社がこの建物に移動していただき、事務所として活用いただくとともに、建物全体の管理をしていただくのがよいとの結論になった。」



職業訓練校建物視察

問 「建物の今後の活用方法は。」

答 「茅野市総合サービス株式会社
の事務所や、講座の会場として使用する教室以外の空き部屋の活用については、今後、検討していく。」

議案第10号

茅野市営住宅設置及び
管理条例の一部を改正
する条例について

可決

この議案は、市単独住宅の家賃について、子育て世帯及び新婚世帯に対する減額措置を講ずることにより、入居率の向上及び若年世帯への生活支援を図るためのもの。施行日は、平成29年4月1日。



サンコーポラス旭ヶ丘 外観

問 「家賃の減額について、通常の家賃より25%減額されるが、減額率の根拠は何か。」

答 「サンコーポラス旭ヶ丘と同様の間取りの市営住宅の家賃や、建築年数などを基準にし、市営住宅の一番高い家賃を下回らない金額とするため、25%の減額率とした。」

問 「サンコーポラス旭ヶ丘に入居する方が増えず、空き部屋が減らない場合は、別荘的な使い方や、移住対策などにも使えないか。」

答 「市営住宅やサンコーポラス旭ヶ丘の入居にあたり、住民票の異動が必要になるため、別荘として使用することは難しいと考えられる。しかし、サンコーポラス旭ヶ丘は、公営住宅法に則らない市単独住宅であるため、入居促進の取組は、今後、柔軟に考えていきたい。」

陳情2

農業者戸別所得補償制度の
復活をもとめる

陳情書

趣旨採択

趣旨採択の意見

「農業者戸別所得補償制度は、現在、経営所得安定対策に切り替わっており、農業者戸別所得補償制度を復活させることは、慎重に考えていかなければならない。しかし、日本国内や茅野市の農業は厳しい状況に置かれており、農業の衰退を防ぎたいという陳情者の心情は理解できる。農地の荒廃を防ぎ、農業が発展していくためにも、政府には、効果的な農業経営対策や、農地の維持・管理に対する補償が求められている。そのため、陳情の趣旨には賛同し、趣旨採択。」



福祉教育委員会

委員長 松山 孝志

議案8号

茅野市子どものための
教育・保育給付に関する
利用者負担額を定める
条例の一部を改正する
条例について

可決

この議案は、茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額について、子ども・子育て支援法第19条第2号の支給認定額に係る保護者に対する多子軽減措置の拡大を行うためのもの。施行日は、平成29年4月1日。

問 「対象が小学校1年生から3年生までに兄弟がいる世帯となっているが、なぜ小学校3年生までなのか。」

答 「今回の改正は、現在1号認定と2号認定とで不公平感があり、これを解消するために小学校3年生までを対象として改正を行う。」

本会議における討論

請願1
「テロ等組織犯罪準備罪」に関する意見書採択を求める請願書

不採択

● 反対討論

「国民の生命・身体に深刻な被害をもたらすテロ行為を事前抑止する手段を講じることは極めて重要なことである。法案に対して乱用の危険性は現実には考えられない。東京五輪のテロ対策として導入する必要がある。」

● 賛成討論

「準備罪の取り締まりにより一般市民への監視が強まり、自由な発言や活動が縛られる可能性がある。また、国際組織犯罪条約を締結するためには現在ある法律でも対応でき、東京五輪のテロ防止も可能である。」

陳情3

「核兵器廃絶国際署名」の取り組みに賛同を表明する陳情

不採択

● 反対討論

「国際社会においては核兵器廃絶には賛成しているが、署名については市民それぞれの意思で決めることであり、議会が強要するものではない。」

● 賛成討論

「日本は、世界で最初の、現状唯一の戦争核爆弾の被害国であり、茅野市は非核平和都市宣言をしている自治体である。日本政府も平和憲法を持つ国の政府として、この署名に賛同すべきである。」

陳情4

日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約締結を求める意見書の提出に関する陳情

採択

● 反対討論

「核兵器の法的禁止を国際法に位置付ける条約であり、核兵器を持つ米国に守られている日本にとって国をどうやって守るかの高度な国際政治問題であり、地方議会の権限外である。」

● 賛成討論

「非核平和都市宣言をしている茅野市はその願い、期待にそって、交渉会議に参加し核兵器禁止条約の締結につとめてもらいたい。」

議案第14号

平成29年度

茅野市一般会計予算について

採択

● 反対討論

「本予算は、基金に頼らず、財政規模も全会計で0・9%の縮小がなされ、財政的にはよく練られた予算であると評価する反面、基盤となる市民が主権者であるという

意識が欠如している。

【保育園の管理計画】市民、利用者に相談することなく、計画を作成した結果、市民からの声で、内容は変更され、笹原とみどりヶ丘保育園の統廃合は、結論を先送りすることとなった。

【保健福祉サービスセンター】4

月から介護保険の要支援者サービスが、自治体で事業化され、地域の福祉力が求められる時に、4サービスマスターを2人のセンター長が2か所ずつ掛け持ちするという予算であり、とても十分な体制とは言えない。

【マイナンバー】国の方針そのままに特別徴収税額通知に、個人番号を記載して送付し、番号管理のために簡易書留での郵送となり、200万円の予算が組まれていきます。国の言いなりで税金を使うことは認められない。

税を納め、茅野市に暮らす市民が公共施設をはじめ、市の行う事業すべての主体であり、中心であるべきである。」

● 賛成討論

「委員会での審査において各事業詳細な説明をうけ、要望に対して市側見解を聴けた。審査・審議では平成29年度市政経営方針、予算経営方針また、茅野市の課題を予算案に反映し、整合性が取れているかが重要になるが、歳入が厳しい中でおおむね妥当である。」

平成29年3月定例会 請願・陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	議決結果	
				委員会	本会議
請願1	「テロ等組織犯罪準備罪」に関する意見書採択を求める請願書	国会において「テロ等組織犯罪準備罪」の法案を提出する準備を進めている。テロ対策に見えるが、中身は一般国民の自由と人権を著しく侵害する恐れのある危険性の高い法案であり、提出を断念するよう政府に求めるもの。	茅野市9条の会	不採択	不採択
陳情2	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情書	米価が下落し、生産者およびコメの流通業者は厳しい状況に置かれている。農業の衰退を防ぐために、販売農業者に対し、生産に要する費用と販売価格との差額を交付する制度の復活を政府関係機関に求めるもの。	農民運動諏訪農民センター	趣旨採択	趣旨採択
陳情3	「核兵器廃絶国際署名」の取り組みに賛同を表明する陳情	日本も国際決議で賛成している核兵器廃絶について国際署名の取り組みに賛同し、長野県、日本政府に表明することを求めるもの。	五味 省七	不採択	不採択
陳情4	日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約締結を求める意見書の提出に関する陳情	日本を含め核保有国は未だ核兵器禁止条約に反対しているが、核兵器のない世界をめざし、日本政府に交渉会議に参加し、条約締結を求めるよう、意見書の提出を求めるもの。	五味 省七	採択	採択

平成29年3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 総務環境 経済建設 福祉教育 予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	松山 孝志	丸茂 岳人	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	両角 秀喜	両角 昌英	伊藤 勝	伊藤 玲子	樋口 敏之	篠原 啓郎	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢 千登勢	小池 賢保		
市長 提出 議案	1 平成28年度茅野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 諏訪広域連合規約の一部変更について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 茅野市行財政改革推進市民委員会設置条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5 茅野高等職業訓練校条例を廃止する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 財産の無償貸付について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6 茅野市特別会計設置条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7 茅野市税条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8 茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9 茅野市道路河川等公共物管理条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10 茅野市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12 平成28年度茅野市一般会計補正予算(第5号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	13 平成28年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	14 平成29年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	15 平成29年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16 平成29年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17 平成29年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	18 平成29年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19 平成29年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	20 平成29年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21 平成29年度茅野市豊平下管沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	22 平成29年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告	1 専決処分の報告について																				
請願	1 「テロ等組織犯罪準備罪」に関する意見書採択を求める請願書	総	不採択	○	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	
陳情	1 「地球を守れる社会体制創り」の為の陳情書		議場配布																			
	2 農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情書	経	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 「核兵器廃絶国際署名」の取り組みに賛同を表明する陳情	総	不採択	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	
	4 日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約締結を求める意見書の提出に関する陳情	総	採択	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議員提出議案	1 茅野市議会委員会条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約締結を求める意見書		可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	3 原発事故避難者の住宅支援の継続を求める意見書		否決	○	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	○	●	●	○	

議決日は、3月22日の議会最終日（但し、議案第1号は、2月24日の開会日に即決）

茅野市の課題を問う!

平成29年3月定例会の一般質問は、3月7日、8日、9日の3日間行われ、14人の議員から26項目についての質問が市側に出されました。茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

平成29年 3月定例会 一般質問通告一覧

	件名	要旨
両角昌英	1 平成29年度新年度予算の政策と施策について	(1) 第5次総合計画の目指すまちづくりについて (2) 人口減少・少子高齢化問題について (3) 広域連携のあり方について
山岸正衛	2 高齢者の積極的社会参加について	(1) 高齢者の閉じこもりの現状について (2) 閉じこもりをなくすための施策について
	3 自然エネルギーの推進と環境への配慮について	(1) 自然エネルギーの推進について (2) 環境への配慮について
矢島正恒	4 子育て・教育に係る主要施策について	(1) 支援を必要とする子供や家庭への行政組織の連携と情報の共有について (2) 茅野市が目指す小中一貫教育と信州型コミュニティースクールについて
	5 市民活動・行政経営に係る主要施策について	(1) 「ゆいわーく茅野」の目指す市民活動の姿について (2) 第5次総合計画や公共施設等総合管理計画等を踏まえた、これからの行政経営について
丸茂岳人	6 市内観光地及び公共施設の今後について	(1) 公共施設バリアフリー化の今後の計画 (2) 観光地トイレの洋式化の今後の計画 (3) Wi-Fi環境整備の今後の計画 (4) 市内温泉施設の利用時間の拡大について
	7 公立諏訪東京理科大学と地域住民及び企業がより交流する取組とは何か	(1) 周辺環境の整備について (2) 地域住民に大学を利用してもらう取組とは (3) 海外姉妹校の検討について (4) 就職斡旋の取組とは
北沢千登勢	8 第0回 ハケ岳JOMONライフフェスティバルについて	(1) 多くの市民を巻き込み、共感してもらえらるフェスティバルにするために
	9 全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)について	(1) 全国平均と茅野市の平均正答率の比較 (2) 学力向上の課題と改善策 (3) 学力テストの結果公表について
長田近夫	10 子ども医療費窓口無料化について	(1) 県と市町村の検討会議について (2) 市の施策について (3) 検討に当たっての課題について
	11 蓄熱方式カーブミラー設置について	(1) 冬季間の曇り防止の対策について (2) 蓄熱方式カーブミラーの設置について
伊藤玲子	12 「茅野市保育園管理計画(案)」地元説明会実施後、改めて示された修正案について	(1) 修正案に至った経緯と各地区で出された意見について (2) (仮称)統廃合検討委員会設置について (3) その後の進め方について
	13 子どもカフェ(子どもの居場所)づくりの必要性について	(1) 子どもの現状の把握について (2) どのような取組が必要と考えるか (3) 取組への支援や連携はいかがか
伊藤勝	14 保育園の統廃合について	(1) 地域創生総合戦略との整合性はとれているのか (2) 統廃合2園の存続の検討はしたのか (3) 保育士不足の対応について

※一般質問通告一覧は受付順となっています。

	件名	要旨
樋口敏之	15 過去の一般質問に対する市側の対応とその後について	(1) 平26年9月議会「マイナンバー制度への取組について」マイナンバーの現状と今後の活用について (2) 平成27年6月議会「茅野市におけるビッグデータ・オープンデータの活用について」ビッグデータの活用とオープンデータの活用状況について (3) 平成27年9月議会「茅野市土地開発公社が所有していた土地の売却について」市内造成団地の販売状況と今後の販売戦略について (4) 平成28年3月議会「市内小中学校の情報通信環境とその活用について」4月から始まる小中一貫教育の中でどのような体制と仕組みで活用するのか
両角秀喜	16 公共施設等総合管理計画の推進について	(1) 公共施設等総合管理計画の目指すものについて (2) 公共施設等総合管理計画の構想について (3) 公共施設等総合管理計画の展開について
小尾一郎	17 茅野市の政策、その現状と課題について	(1) 政策を立案・執行するに当たって、留意あるいは心掛けていることは何か (2) 住民にアピールしたい、アピールできる政策、住民として誇りを持ってもらえるような政策は何か (3) 今後、立案したい、しなければならないと考えている政策は何か、あるいは、その分野は何か
伊藤正陽	18 霧ヶ峰メガソーラー発電所建設計画に対する住民不安解消について	(1) 地元住民の反対決議をうけて、市長はどう考え、どう対応するのか
	19 非正規職員の待遇改善と労働環境改善について	(1) 専門職として働いている非正規職員の待遇改善について (2) 同一労働同一賃金に向けて非正規職員の待遇改善に市はどう取り組もうとしているか
	20 保育園管理計画(案)について	(1) 保育士不足の現状とその原因をどう考えているか (2) 保育園職員の待遇と労働環境・労働条件改善について (3) 保育園施設の改善(職員トイレ・更衣室等の設置)について
松山孝志	21 少子化対策への取組について	(1) 少子化対策の骨格について (2) 少子化対策に関わる予算配分について (3) 結婚に至る支援体制について
	22 地域における道路整備について	(1) 道路整備事業の予算配分について (2) 地元企業の活用について
	23 世界かんがい施設遺産登録について	(1) どの様に活用していくかについて (2) 教育上での活用について
望月克治	24 マイナンバー制度について	(1) マイナンバーカードの発行状況 (2) 市役所で扱う個人情報の漏洩防止策 (3) 特別徴収税額通知書の内容について
	25 子育て支援について	(1) 就学援助費の支給方法と回数について (2) 通学区域の柔軟な運用について (3) 現代社会における乳幼児期の保育の必要性について
	26 茅野市公共施設等総合管理計画について	(1) 「茅野市保育園管理計画(案)」の見直しによる、管理計画への影響 (2) 管理計画における小中学校の計画 (3) 公共施設の果たす役割

※一般質問通告一覧は受付順となっています。

茅野市女性団体連絡協議会主催

「市議会議員さんと語る会」

平成29年1月29日(日)茅野市家庭教育センターにて、茅野市女性団体連絡協議会主催「市議会議員さんと語る会」へ参加しました。

当日は、3つのグループに分かれ活発な意見交換を行うことができました。

○縄文プロジェクトの取り組みについてグループ

- ・茅野市の誇りである、国宝の土偶・縄文遺跡を観光にどのように活かしていくかが今後の大きな課題。市民全体で取り組んでいかれたらいい。
- ・現在市内の小中学校で縄文科の授業が行われているが、自分たちは、この地域に住んでいるという“誇り”を持って、大人になっても地域を愛してほしい。



○観光地(白樺湖・蓼科など)の活性化についてグループ



ソーラーパネルについて

- ・観光地であるのに、観光・景観をこわす状態になっているのが心配。
- ・美しい里山を大事にして守るための規制がほしい。
- ・多くのソーラーパネルがあることは観光的にはどうか。
- ・現在のように大型になって、林、田畑に作っていくと災害につながりそう。

白樺湖の周辺について

- ・空き家、廃屋等で、観光地とはほど遠く心が痛む。
- ・湖の対岸から眺めると、プチアルプスのような景観がもったいない。

エコラインについて

- ・柏原区へエコラインがつながるが、市街地を通らなくなるのは、観光としてどうなのか。

DMOについて (DMO：地域と協同して観光地域作りを行う法人)

- ・市民の中にどう進めていくか。前宮周辺は、観光としてもっと宣伝したらどうか。
- ・茅野市らしい魅力は何だろう。そのアピールを考えることが大事では。
- ・自然、滝、池、湖、遊歩道など大事にしてほしい。

○茅野市で推奨するものについてグループ

茅野市の水について

- ・茅野市はおいしい水を汲むことができる場所があるので、水を推奨品とするには、もう少し考える必要がある。

茅野市に対する思い入れとして推奨品はどんなものが良いか

- ・代表するものは、たくさんあるが、「何かを」と決めるにはまだ考えが及ばない。
- ・これからの未来を担う若い世代の子育てが重要。空気もよく子育てのしやすい場所であるので活かすべき。
- ・糸萱かぼちゃが注目されているが、地元の人単なるかぼちゃとしか思っていなかったが、他県からの人に素晴らしさを気づかされ、新たな物産になった。中に居ては、見えないことも多くある。市議会議員の皆さんも先進地への研修は訪問しているが、問題点のある地への研修も逆の視点から考えてはいかかか。
- ・自分で生き抜く力(自助)・行政(公助)・地域(共助)のバランスが取れるように、そういう意味で他に負けない茅野市と誇れるようにしてほしい。



議会報告・意見交換会開催のお知らせ

市民の皆さんに議会活動の状況を報告するとともに、市民の皆さんから直接ご意見をお伺いする場として、議会報告・意見交換会を開催いたします。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

- と き** 平成29年7月22日(土) 午後7時から
ところ 市役所議会棟大会議室
内 容 ・議会報告：定例会で審議した主な議案について
・意見交換：市政や議会に関する市民と議員との意見交換

開かれた議会を目指して

茅野市議会議長 小松 一平

平成27年5月議長就任以来、開かれた議会、市民に寄り添い、市民のための議会を目指して、全議員の力と英知を結集して議会改革を進めて参りました。



一、議会をもっと知って頂くために

- 本会議の実況中継・録画放送
 - 議会開催の市役所内放送案内
 - 議会報告・意見交換会実施要領の制定
 - 市民との意見交換会
 - 議会傍聴者への議案・資料の配布
 - 議会だよりの発刊、全ページのカラー化
 - 政務活動費収支報告書のホームページでの公開
- 二、議会の活性化に向けて
- 常任委員会での議員間討議の導入
 - 一問一答方式による一般質問
 - 議員連盟・会派制の導入
- 三、会議の効率化・環境保全への取組
- タブレット端末機によるペーパーレス会議
- 引き続き、市民に寄り添い、市民の負託に応える議会を目指して、議会改革の前進に努めて参る所存であります。今後とも、市民の皆様の一層のご意見、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

編集室^{より}

3月議会におきまして、市民の生活に希望が持て、地域の皆様に寄り添った平成29年度予算が成立しました。大いに新年度の事業実施が期待される所です。

また、平成29年度は、第5次総合計画策定の年度であり、各分野別の計画の策定年度です。未来を見据えた希望に満ちたビジョンとなりますように、市民の皆様のご提言やご意見をお寄せいただければと思います。

併せまして、市が推進しています地域総合戦略・公共施設等総合管理計画を含めた人口減少・少子高齢化対策への施策展開が、重要な鍵を握る時代へと移り変わってきております。

そんな時代に、市民の暮らしを守り、地域に活力を生み出して行くためには、「地消地産(地域で消費する物を、地域で生産して行く)」による地域内循環を高めてゆくことが、地域を潤すことにつながり、そこに、市民が求める、心から喜ばれる施策があると考えます。

議会広報部会 両角 秀喜